

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 地歴 科目 地理総合

教科： 地歴 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：三上）（2組：三上）（3組：三上）（4組：田本）（5組：三上）（6組：田本）（7組：三上）（8組：三上）

使用教科書：（ 帝国書院『高等学校 新地理総合』、帝国書院『新詳高等地図』 ）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 地球上の位置と時差 【知識及び技能】 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響、時差のしくみや時差が生活に与える影響について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響、時差のしくみや時差が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響、時差のしくみや時差が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決させる。	《指導項目》 ・地球儀と地図の見方 ・緯度・経度のしくみ ・緯度の違いが生活に与える影響 ・時差のしくみ ・時差が生活に与える影響 《使用教材》 教科書、地図帳、ワークシート、ICT機器、一人1台端末の活用	・緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 ・緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・時差のしくみ、時差が生活に与える影響について理解している。 ・時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	B 単元 地図の役割と種類 【知識及び技能】 さまざまな地図投影法（図法）や、さまざまな主題図の表現方法や用途、地理情報システム（GIS）のしくみや活用について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな地図投影法（図法）や、さまざまな主題図の表現方法や用途、地理情報システム（GIS）のしくみや活用について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな地図投影法（図法）や、さまざまな主題図の表現方法や用途、地理情報システム（GIS）のしくみや活用についてよりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決させる。	《指導項目》 ・さまざまな地図投影法 ・一般図と主題図 ・さまざまな統計地図 ・地理情報システム（GIS）の活用 《使用教材》 教科書、地図帳、ワークシート、ICT機器、一人1台端末の活用	・さまざまな地図投影法（図法）や、さまざまな主題図の表現方法や用途について理解している。 ・地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について理解しており、基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ・さまざまな地図投影法（図法）や、さまざまな主題図の表現方法や用途について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・さまざまな地図投影法（図法）や、さまざまな主題図の表現方法や用途について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	C 単元 大地形と人々の生活 変動帯と人々の生活 安定地域と人々の生活 【知識及び技能】 生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域、変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域、変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域、変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決させる。	《指導項目》 ・陸海分布 ・大地形と小地形 ・安定陸塊の諸地域 ・古期造山帯の諸地域 ・新期造山帯の諸地域 《使用教材》 教科書、地図帳、ワークシート、ICT機器、一人1台端末の活用	・生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。 ・変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について理解している。 ・生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	D 単元 河川がつくる地形と人々の生活	《指導項目》 ・平野の地形の名称と特色	・平野の地形・海岸の地形・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と生活の関わり、沖積平				

	<p>海岸の地形と人々の生活 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 平野の地形・海岸の地形・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と生活の関わり、沖積平野の上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平野の地形・海岸の地形・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と生活の関わり、沖積平野の上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 平野の地形・海岸の地形・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と生活の関わり、沖積平野の上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決させる。</p> <p>定期考査 定期考査の振り返り</p>	<p>・海岸の地形の名称と特色 ・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形の名称と特色</p> <p>《使用教材》 教科書、地図帳、ワークシート、I C T機器、一人1台端末の活用</p>	<p>野の上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について理解している。</p> <p>・平野の地形・海岸の地形・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と生活の関わり、沖積平野の上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・平野の地形・海岸の地形・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と生活の関わり、沖積平野の上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	7
				○	○	○	2
	<p>E 単元 気温・降水と人々の生活 大気大循環と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴、大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴、大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴、大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>定期考査 定期考査の振り返り</p>	<p>《指導項目》 ・気候要素と気候因子 ・気温のしくみと分布の特徴 ・降水のしくみと分布の特徴 ・大気大循環と恒常風のしくみ ・季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響 ・局地風と熱帯低気圧のしくみと特徴</p> <p>《使用教材》 教科書、地図帳、ワークシート、I C T機器、一人1台端末の活用</p>	<p>・気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴、大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について理解している。</p> <p>・気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴、大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴、大気大循環・恒常風のしくみと生活への影響、季節風（モンスーン）のしくみと生活への影響について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	7
2 学期				○	○	○	2
	<p>F 単元 世界の植生と気候区分</p> <p>【知識及び技能】 植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決させる。</p>	<p>《指導項目》 ・気候帯と気候区分 ・気候区分の判別法 ・雨温図とハイサーグラフ</p> <p>《使用教材》 教科書、地図帳、ワークシート、I C T機器、一人1台端末の活用</p>	<p>・植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について理解している。</p> <p>・植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・植生と気候の関わり、ケッペンの気候区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>G 単元 熱帯の生活</p> <p>【知識及び技能】 高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決させる。</p> <p>定期考査 定期考査の振り返り</p>	<p>《指導項目》 ・熱帯雨林気候(Af)の特色 ・弱い乾季のある熱帯雨林気候(Am)の特色 ・サバナ気候(Aw)の特色</p> <p>《使用教材》 教科書、地図帳、ワークシート、I C T機器、一人1台端末の活用</p>	<p>・高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。</p> <p>・高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・高温多湿な熱帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
				○	○	○	2
	<p>H 単元 乾燥帯の生活</p> <p>【知識及び技能】 水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現させる。</p>	<p>《指導項目》 ・砂漠気候(BW)の特色 ・ステップ気候(BS)の特色</p> <p>《使用教材》 教科書、地図帳、ワークシート、I C T機器、一人1台端末の活用</p>	<p>・水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。</p> <p>・水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	5

3 学 期	生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 水の少ない乾燥帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決させる。		にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	○
	I 単元 温帯の生活 【知識及び技能】 季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決させる。	《指導項目》 ・温暖湿潤気候(Cfa)の特色 ・西岸海洋性気候(Cfb)の特色 ・温暖冬季少雨気候(Cw)の特色 ・地中海性気候(Cs)の特色 《使用教材》 教科書、地図帳、ワークシート、I C T機器、一人1台端末の活用	・季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 ・季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・季節の変化に富む温帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	J 単元 亜寒帯・寒帯の生活 【知識及び技能】 冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決させる。	《指導項目》 ・亜寒帯湿潤気候(Df)の特色 ・亜寒帯冬季少雨気候(Dw)の特色 ・ツンドラ気候(ET)の特色 ・氷雪気候(EF)の特色 ・高山気候(H)の特色 《使用教材》 教科書、地図帳、資料集、ワークシート、I C T機器、一人1台端末の活用	・冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて理解している。 ・冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・冬が長い亜寒帯の気候・植生と生活との関わり、雪と氷に覆われる寒帯の気候・植生と生活との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査 定期考査の振り返り			○	○	○	2
							合計
							70